

当園で初めて開花した植物 グランマトフィルム・スペシオスム (*Grammatophyllum speciosum* Blume)

濱谷修一・落合葉子・坂原治男

グランマトフィルム・スペシオスムは東南アジア原産のラン科植物で、草丈が3m近くにも達することから、「世界最大のラン」と呼ばれている。このたび、当園では初めて本種が開花したので報告する。

当園では1976(昭和51)年の開園間もないころ、新宿御苑から株の分譲を受け、その後栽培温室内で鉢植えで管理していた。1993(平成5)年に熱帯スイレン温室の補修を行った際、日当たりのよい壁面に取り付けた。熱帯スイレン温室は当園の温室では最も温度が高く(最低20℃に設定、25℃で天窓開閉)、空中湿度も高いため、本種の生育には最も適



写真1. 開花の様子

した環境であると考えられた。2003(平成15)年ごろから根のまわりを防虫ネットで覆い、間に軽石などを入れた(それ以前は、根が露出した状態だった)。水は1~2日おき、肥料は市販の発酵油粕(固形)を1~2ヶ月に1度与えている。

2005(平成17)年9月10日ごろ、1本の花茎がかなり伸びているのを確認、9月13日に開花(4輪、確認できるつぼみ約30輪)を確認した。詳しく調

べると、伸長の途中で座死または折れた花茎がもう1本あった。9月13日時点での花茎長は約1.5m、花の大きさ(横径)は7~10cmだった。株元から葉の先端までの長さは約1.5m、株が左右に広がっており、全体の株の大きさ(株張り)は約2.5mだった。その後の生育は以下の通りであった。

10月9日

約40輪開花、確認できたつぼみ15輪。

10月26日

約60輪開花、つぼみ約10輪。始めに咲いた花は終わり。

11月12日

傷んだ花約20輪、元気な花22輪、つぼみ2輪、落花あり。

11月22日

つぼみ咲き切る。半分落花。残り25輪。

12月20日頃

数輪残して落花。残った花も観賞には耐えない。

最終的な花茎長は2.0mだった。

11月12日と11月24日に人工交配を行った。12月末時点で、1個の果実が肥大しつつある。

これまで開花しなかった理由として、過去20数年間はこの植物にとっては小さな鉢に植えられていたこと、根が露出した状態で管理されていたことなどの理由で十分な肥培管理が行われていなかったことが考えられる。しかし、根の周辺を防虫ネットで覆い、軽石などを根に絡ませることにより十分に肥料などを吸収することができるようになり、環境がよくなって株の充実につながり、初めて開花したのではないかと推測している。

なお、「世界最大のランの開花」というふれこみでマスコミに情報提供したところ、いくつかの取材があり報道が行われ、この花を目当てに来園された方も多かった。



写真2. 花のアップ



写真3. 根のまわりの様子